

本の森に出かけよう～みずかな樹木には魅力がいっぱい～

林野庁 林政部 企画課 林野図書資料館

開催日：令和7年2月17日(月)～2月21日(金)＜5日間＞開催

来場者：745人

概要：私たちの身近にある様々な樹木の魅力を、イラストパネルとリーフアート(葉っぱの切り絵)で紹介しました。また、リーフアートのワークショップ(しおり作り)を開催するとともに、色々な種類の葉っぱに触れたり、香りを体験できるコーナーも設けました。



漫画やイラストの作者(林野庁職員)を紹介する担当スタッフ



林野庁図書館や国会図書館についてご紹介



森のリーフアーティスト「うけさん」によるワークショップ

森のリーフアーティストうけさん

本名：佐野市輝(さのゆうき)
 (園芸) 森林研究・整備機構 森林整備センター職員
 (公認) 日本自然保護協会自然観察指導員

香川県小豆島生まれ。小さい頃から植物が大好きで、牧野富太郎のような植物好きになることを夢見る少年でした。
 平成7年、林研に入社。プラザイベントでは、自然観察指導員として、一般のみなさんに自然の素晴らしさ・大知識を伝える活動をしています。

令和3年8月、知り合いの園芸の店で、自然・園芸のリーフアーティストの資格取得しました。この資格により、森でリーフアートの作り方を教えます。森の魅力を、しおり・大図鑑、一般の人たちに伝えるために、自然の大切さを伝えるワークショップと合わせてリーフアートの制作を指導するようにしました。現在は、随分と忙しかついています。



出来上がった参加者オリジナルのリーフアートは、ラミネート加工してお持ち帰り



園児や引率者の皆さんにも「葉っぱの香り体験」をしていただきました